

## 学校施設の耐震診断の状況

学校施設は、児童や生徒が一日の大半を過ごす活動の場であり、非常災害時には地域住民の応急避難場所としての役割も果たすことから、その安全性の確保は極めて重要です。

柴田町では、平成9～12年度に昭和56年度以前に建築された、船岡中学校・槻木中学校・槻木小学校・船迫小学校の4校について耐震診断を実施し、学校施設の安全性の確認を行っています。その他の小中学校については、新耐震基準により建設されています。

耐震不足の校舎・屋体について、平成22年度から耐震改修工事を実施し、補強工事が完了しています。

### 【耐震診断・改修後の結果】(2017/12/1 現在)

学校名	建物区分	建築 年度	構造	棟 数	耐震診断 (設計)	Is 値	耐震 判定	摘 要
船岡中学校	校舎(東)	S42	RC	1	H10	0.52	×	X軸Y軸とも1・2階の耐震不足
耐震補強	〃	〃	〃	1	(H22)	0.72	○	新基準により設計
船岡中学校	校舎(西)	S43	RC	1	H10	0.52	×	X軸Y軸とも1・2階の耐震不足
耐震補強	〃	〃	〃	1	(H22)	0.72	○	新基準により設計
船岡中学校	校舎(特別)	S43	RC	1	H10	0.52	×	X軸1階の耐震不足
耐震補強	〃	〃	〃	1	(H22)	0.72	○	新基準により設計
船岡中学校	屋内運動場	S45	S	1	H10	0.64	×	X軸Y軸とも耐震不足
改築	〃	H22	〃	1	(H22)	—	○	新基準により設計
槻木中学校	校舎	S39	RC	1	H9	0.41	×	X軸1・2・3階の耐震不足 (H23.11 解体完了)
槻木中学校	校舎(特別)	S39	RC	1	H9	0.45	×	X軸1・2階の耐震不足 (H23.11 解体完了)
槻木中学校 改築	校舎	H24	RC	1	(H22)	—	○	新基準により設計 完成予定 H25.2
槻木小学校	校舎(西)	S50	RC	1	H12	0.81	○	耐震性あり
槻木小学校	校舎(東)	S51	RC	1	H28	0.58	×	X軸1・2階の耐震不足
耐震補強	〃	〃	〃	1	(H29)	0.74	○	新基準により設計
槻木小学校	校舎(管理)	S51	RC	1	H12	0.81	○	耐震性あり
槻木小学校	屋内運動場	S51	RC	1	H12	0.81	○	耐震性あり
船迫小学校	校舎(中央)	S55	RC	1	H28	0.43	×	Y軸2階の耐震不足
耐震補強	〃	〃	〃	1	(H29)	0.72	○	新基準により設計
船迫小学校	校舎(西)	S55	RC	1	H12	0.73	○	耐震性あり

※

※ 表に記されていない学校施設については、昭和56年改正の新耐震基準により建設されていますので、耐震性は確保されています。

※  $I_s$  値は、耐震診断に使われる指標です。

$I_s$  値=0.3に満たない場合

地震の振動及び衝撃に対し倒壊し又は崩壊する危険性が高い。

$I_s$  値=0.3以上で0.7に満たない場合

地震の振動及び衝撃に対し倒壊し又は崩壊する危険性がある。

$I_s$  値=0.7以上の場合

地震の振動及び衝撃に対し倒壊し又は崩壊する危険性が低い。

※ 構造中「RC」は鉄筋コンクリート造、「S」は鉄骨造を表しています。